

# 令和3年度 事業計画(変更)

令和3年12月8日付  
第17回臨時総会 承認

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

## 令和3年度 事業計画(変更)

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

### 1. 協会活動方針

令和3年度は、収束が見込まれない「新型コロナウイルス感染症」が、当協会の経営にも多大な影響を与えており、それを踏まえた法人の運営は、以下の通りとする。

- (1) 会員企業ならびに出展企業の事業拡大の一助となるサービスの向上に努めるとともに、事務局の運営に関しては、職員の在宅勤務を基本とした勤務体系などによる支出の削減を図り、業務の効率化と合理化を推進し、法人の継続的な運営維持を図る。
- (2) 当協会の主業務である、「CEATEC」「Inter BEE」の維持と発展を目的として、主催者との連携を更に強化し、出展企業のビジネス機会の創出に貢献することを目指し、最大限にリソースを活用出来るよう選択と集中を図り、企画、運営に努める。今期は、CEATECはオンラインでの開催、Inter BEEは、幕張メッセでの開催となる。委託事業として、経費の削減等の予算管理を徹底し、出展各社の事業拡大に貢献する事業運営に努める。更に、Society 5.0を基軸に、業界団体が主催する革新的な展示会としての機能強化に取り組む。
- (3) ニューノーマル社会における新たな展示会の在り方が問われる中で、「CEATEC」としての開催形体や評価基準の最適化を追求し、さらにはSociety 5.0実現に向けた展示会としての「CEATEC」の価値を高める。
- (4) 「Inter BEE」は感染対策を政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和2年3月28日（令和2年5月25日変更）」および、「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る幕張メッセの利用条件について（令和3年9月13日更新）」等を踏まえ、開催期間中の感染リスクを低下させるため、全ての来場者及び出展者には、各事項を確認のうえで来場いただくこととする。  
また、開催までの政府の方針等の変更に伴い、案内及び注意事項を更新、具体的な対応を図ることとする。

### 2. 協会運営事業

総会、理事会、運営役員会等を次の通り開催し、当協会の運営に関する重要事項を審議し、各種事業を円滑に実施する。なお、今年度は、「新型コロナウイルス感染症」への対応として、各会議の開催方法は書面審議を基本とし、重要事項審議、他の会議との併用による通常の開催については、随時、検討を行う。

- (1) 通常総会
  - ・第16回通常総会（書面審議）：令和3年6月2日（水）
- (2) 理事会
  - ・第53回書面理事会：令和3年5月13日（木）
  - ・第54回書面理事会：令和3年6月2日（水）
  - ・第55回書面理事会：令和3年11月22日（月）
  - ・第56回書面理事会：令和4年3月29日（火）

### (3) 運営役員会

理事会への対応など、当協会の重要案件審議のため、適時開催とする。

## 3. 展示会事業

展示会事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、CEATEC 2021 は通常開催（幕張メッセでの開催）を中止とし、オンライン開催とする。Inter BEE は、当初の計画どおり幕張メッセでの開催とするが、新たにオンラインのみでの出展も新設する。

### 3-1 「CEATEC 2021 ONLINE」

#### (1) CEATEC 2021 開催基本計画

##### ①開催方針

新型コロナウイルス感染症の影響は、日本国内においても予断を許さない日々が続き、首都圏における緊急事態宣言等が6月20日まで延長されたことを受け、来場者、出展者ならびにCEATECに関わるすべての方々の安全を最優先とし、約14万人の来場が見込まれる幕張メッセ会場にて、来場者と出展者が積極的な交流を図る環境を用意することが難しいと判断した結果、CEATEC 2021 はオンラインのみでの開催とする。昨年の初めてのオンライン開催の実績と独自開発したプラットフォームを活かし、来場者と出展者とのコミュニケーションをさらに拡充する機能や、より魅力的な展示ブースを実現するツールを追加することにより、進化したオンラインプラットフォームによる開催を目指す。CEATEC 2021 は、オンライン開催においても、CPS/IoT と共創をテーマとし、あらゆる産業と業種による、超スマート社会の実現を目指す総合展示会として、昨年に続いて開催テーマを「つながる社会、共創する未来」、推進スローガンを「ニューノーマル社会と共に歩む CEATEC」とする。2022年以降の開催も見据え、リアル開催の優位性を如何にしてオンライン開催においても実現できるかを追求する。

##### ②リアル開催（幕張メッセ開催）の優位性

- タッチ&トライ：触れて、体験ができること。
- リアルタイムコミュニケーション：来場者と出展者がインタラクティブな情報交換を行うこと。
- 熱気と活気：リアル会場でしか感じ取ることの出来ない、まさに臨場感そのもの。

##### ③オンライン開催の優位性

- 開催期間や開催時間の枠組みを超える。  
これまでの会期という特定期間（4日間）から、会期前後の期間も含めた長期間（3カ月）に渡る、プレイベント、アフターイベントそして、アーカイブを通じて発信する情報の価値向上を目指す。
- 国境と時間にとらわれない。  
日本各地、そして海外からの出展やコンファレンスへの登壇と来場・聴講が期待される。
- DXを駆使する。  
新たなビジネスモデル構築や情報の利活用が促進される。

##### ④オンライン開催における新たな情報発信の提案

従来の考え方であった、限られた4日間の会期という期間にとらわれることなく、オンライン上での情報を長期間に渡って有効的に展開し、国内外のより多くの方々にCEATECに接していただく。

##### ●プレイベント：

9月9日から週ごとに4つのテーマを掲げ、そのテーマに基づくコンファレンスを実施することにより早い段階から多くの方にCEATECに触れていただく。その4つテーマは、カーボンニュートラル、5G、モビリティ、スーパーシティ&スマートシティ。これらのテーマは、メインイベント中も継続して、コンファレンスの展開を図る。

##### ●オープニングデー(10月15日)

産業界、経済界、そして政府の代表より、開催に向けたメッセージの発信と、オープニングキーノートスピーチを開催。

- メディアデー(10月18日)  
昨年よりも開催時間を拡大(5時間)しての、各種メディアに向けた企業展示の公開。
- メインイベント(10月19日～22日)  
幕張会場で会期と定めていた会期4日間がメインイベントとなり、出展企業の展示ブースの公開、日別のテーマによるコンファレンス、各種セミナーを一同に発信。
- アフターイベント(10月23日～11月30日)  
会期が終了しても多くの方々に、CEATEC 2021 ONLINE をご覧いただく期間を設ける。

## (2) 開催概要

- ①名称：CEATEC 2021 ONLINE
- ②会期：2021年10月19日(火)～22日(金)  
※会期終了後、11月30日までアーカイブとして公開
- ③会場：<https://www.ceatec.com/>
- ④開催テーマ：つながる社会、共創する未来
- ⑤推進スローガン：CEATEC 2021- Toward Society 5.0 with the New Normal  
／ニューノーマル社会と共に歩む CEATEC

## (3) 展示構成

- ①企業エリア：プレミアムプラン／スタンダードプラン／ベーシックプランから選択
- ②Society5.0エリア：カーボンニュートラル／スーパーシティ・スマートシティ／  
デジタルトランスフォーメーションのカテゴリー別展示
- ③Co-Creation PARK：設立9年以下の国内外のスタートアップと教育機関による展示

## (4) コンファレンス

4つのメインテーマを掲げ、会期前、会期中、会期後と継続的な情報発信を図る。

- ①メインテーマ：カーボンニュートラル／5G／モビリティ／スーパーシティ・スマートシティ  
各テーマにおいて、米国・欧州・アジア・日本のトップランナー企業の登壇を実現
- ②展開方法：プレイベント・9月9日～9月30日(各週テーマ別)  
オープニングデー・10月15日(挨拶/祝辞/キーノートスピーチ)  
メインイベント・10月19日～22日(各日テーマ別)  
アフターイベント・10月23日～11月30日(CEATEC AWARD 受賞企業)

## 3-2 「Inter BEE 2021」

### (1) Inter BEE 2021 開催基本計画

「Inter BEE 2021」は、11月17日～19日の3日間に渡って幕張メッセにて開催するが、新型コロナウイルス感染症の影響が収束しない状況を鑑み、オンライン限定出展を新設する。幕張メッセに出展することができない企業や、来場が難しい国内外の方々への機会を提供する。

尚、オンライン限定出展には、昨年開発導入をした INTER BEE 2020 ONLINE の仕組みを活用する。また、2019年まで同時開催を行っていた「デジタルコンテンツ EXPO 2021」(主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会)を本年も同時開催することとする。

### (2) 開催概要

- ①名称：Inter BEE 2021
- ②会期：2021年11月17日(水)～19日(金)  
※オンライン会場は、2021年12月17日(金)まで公開
- ③場所：幕張メッセ(千葉市・美浜区)／オンライン(<https://www.inter-bee.com>)

### 3-3 「The 9th After NAB Show Tokyo 2021」

5月の「The 9th After NAB Show Tokyo 2021」は、米国で開催される「NAB Show 2021」が、毎年開催をしていた4月から10月開催に日程が変更されたことに伴い、「NAB Show Tokyo 2021」の開催は、当協会と共に主催するNAB日本代表事務所(映像新聞社)と協議の上、中止とした。

## 4. 国際連携活動

当協会が運営する展示会の国際化の促進を図るため、次の海外関連展示会の主催団体等と広告、プレスコンファレンス、出展誘致などの相互協力を行うとともに、各展示会の情報収集活動を行う。

### (1) CEATEC グローバルパートナー

- ①Consumer Technology Association (CTA)／CES (USA)
- ②Messe Berlin / IFA (Germany)
- ③Plug & Play Japan

### (2) Inter BEE グローバルパートナー

- ①Asia-Pacific Broadcasting Union (ABU)
- ②International Association of Broadcasting Manufacturers (IABM)
- ③Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
- ④National Association of Broadcasters (NAB), Las Vegas
- ⑤International Broadcasting Convention (IBC), Amsterdam
- ⑥China Content Broadcasting Network (CCBN), Shanghai
- ⑦Beijing International Radio, TV & Film Equipment Exhibition (BIRTV)
- ⑧Korea International Broadcast, Audio & Lighting Equipment Show (KOBA)
- ⑨Broadcast Asia／Avia
- ⑩Broadcast India／SET
- ⑪Prolight + Sound Guangzhou／Prolight + Sound Shanghai